

令和2年8月14日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 此下 竜矢
(コード 2388 東証 J A S D A Q 市場)
問合せ先 開示担当 小竹 康博
(TEL 03 - 6225 - 2207)

営業外収益、営業外費用の発生及び営業外費用（為替差損）の減少に関するお知らせ

当社は、令和2年9月期第3四半期連結累計期間（令和元年10月1日～令和2年6月30日）において、下記のとおり営業外収益、営業外費用の発生及び営業外費用（為替差損）が減少することになりましたので、お知らせいたします。

記

1. 営業外収益（持分法による投資利益 317百万円）の発生及びその内容

当第3四半期連結累計期間（令和元年10月1日～令和2年6月30日）において、主にDigital Finance事業を行う海外の持分法適用関連会社の業績が堅調に推移したことに加え、一部は同事業を行う海外の連結子会社がIFRS第9号の会計基準を採用したことに伴う調整額（84百万円）が生じたことにより持分法による投資利益317百万円を計上することとなりました。

2. 営業外費用（社債利息 548百万円）の発生及びその内容

当第3四半期連結累計期間（令和元年10月1日～令和2年6月30日）において、子会社のGroup Lease PCLが発行済みの転換社債等により社債利息548百万円を計上することとなりました。

3. 営業外費用（為替差損）の減少及びその内容

第2四半期連結累計期間（令和元年10月1日～令和2年3月31日）において、為替差損245百万円を営業外費用に計上しておりましたが、主に為替相場の変動に伴う当社グループの保有する外貨建債権債務の簿価と、期末為替レートによる評価額との差により、当第3四半期連結累計期間（令和元年10月1日～令和2年6月30日）に為替差益211百万円が発生したため、為替差損は33百万円に減少することとなりました。

4. 今後の見通し

上記につきましては、令和2年8月14日付「令和2年9月期第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映させております。

以 上